

第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	高知市立南海中学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	中学生が地域の防災リーダーに ～地域への貢献～

〈活動・研究の意義および活動報告〉

1. 活動に至る経緯

本校は、高知県高知市の南部の太平洋に面した海岸線に立地している。そのため、近い将来に必ず起こるとされている南海トラフ巨大地震とそれに伴う津波から命を守る取組を行っている。また、本校区は住民の流出や高齢化が進んでいる。生徒が自分自身の命を守ることはもちろんであるが、地震・津波時に中学生が地域の防災リーダーとして行動することで、地域の活性化や意識の向上に貢献したい。

2. 活動・研究の目的（ねらい）

取組の中心となるのが本校生徒で構成する「NSP実行委員会」で、東日本大震災を契機として結成され、活動12年目となる、防災活動に特化した他に類を見ない部活動である。直接的な地震・津波対策としては、校区津波避難マップの作成・配布、校区一斉津波避難訓練時の中心的役割、地域やマスコミ等への啓発などである。一方、日頃からの地域への貢献が被災時の住民とのつながりになると考え、地域行事などにも積極的に参加し、その存在をアピールしている。



NSPの活動の紹介

3. 活動内容

- (1) 対象者 Nankai Survival Project（通称NSP）実行委員会メンバー17名を含む全校生徒190名
- (2) 内容 津波避難マップの作成、校区一斉避難訓練の実施、命を守るための啓発活動、地域貢献活動など
- (3) ねらい 地震・津波の被災時に、中学生が地域の防災リーダーとなって地域に貢献する
- (4) 活動時期および内容

活動時期	活動内容（マル付番号は活動項目）	備考
令和5年4～5月	①地域行事に参加（防災儀など）	どろんこ祭り(4/2)、長宗我部まつり(5/14)
令和5年6月	②校区津波避難マップ2023版作成	NSPが主体となって作成
令和5年6月18日	①こうちこどもファンドで活動発表	高知市保健福祉センター
令和5年7月	④校区津波避難マップ英語版作成	NSPと英語部のコラボ
令和5年7月15日	①地域ボランティアに参加	御豊瀬地区清掃ボランティア
令和5年9月1日	③地域の自主防災会との打ち合わせ	「防災活動の日」に向けての打ち合わせ
令和5年9月20日	③南海中学校「防災活動の日」	被災者支援活動+校区一斉津波避難訓練
令和5年10月7日	③本校文化発表会で成果を報告	NSPの活動を紹介
令和5年10月28日	①地域ボランティアに参加	御豊瀬地区
令和5年12月3日	①こうちこども未来ビレッジに参加	高知ちばさんセンター特設ステージ
令和6年3月20日	①こうちこどもファンドで成果発表	高知市あんしんセンター
通年	⑤校内避難訓練の企画と実施	生徒のアイデアを企画に生かす

【活動項目】

①地域行事に参加

地震・津波発生時に中学生がリーダーとなって地域とともに活動するためには、中学生の存在と活動が地域の活性化に役立つことを認識してもらうことが何よりである。このことを踏まえ、NSPを中心とした本校生徒が地域に貢献し、中学生の存在感を高めることを目的に、日頃から積極的に地域行事に参加した。その際には、NSPオリジナル演劇であり面白おかしく防災について演じる「防災俄（にわか）」を披露している。本年度も多くの場面で、防災についての啓発を行うことができた。

②校区津波避難マップ 2023 版作成

甚大な津波被害が想定される本校区においては、県・市から出されたハザードマップに加え、中学生の視点からの避難マップが効果的である。本校では、NSPの生徒が実際に校区内の38か所の避難場所を点検し、撮影した避難場所の画像や避難の際に注意するポイントを掲載した校区津波避難マップを作成した。本年度もさらに改良を加え2023版を校区の多くの世帯に配布した。また、外国人の方にも理解を深めてもらいたいと考え、英語版も発行した。

③南海中学校「防災活動の日」

中学生が地域の防災リーダーとなるためには、地震・津波時に率先して確かな避難・安全行動ができるような知識と技能が必要である。そこで、学年ごとに防災グッズの作成、被災者搬送訓練、炊き出し、避難所開設訓練などを行い、生徒の実践力を高めるとともに、中学生が被災者を物心ともに支援することができるよう実施した。

また、地域の幼児からお年寄りまで、地域住民、自主防災組織、消防や行政などを巻き込んだ「校区一斉津波避難訓練」を中学校及びNSPが主体となって行うことにより、中学生が素早く確実な避難行動を起こし、犠牲者を可能な限り少なくするよう全力を尽くした。

④生徒・保護者・地域への啓発

日頃から地震や津波に関する関心を高め、知識を深めるために、校舎の2か所に「南海中防災通り」を作り、いつでも生徒や保護者、地域の方の目に触れるようにした。

また、生徒作品として校区の立体地形図を作成し、生徒や地域の方に、津波避難時には遠い場所よりも高い場所に逃げることを重要であることを認識してもらうことができた。

⑤校内避難訓練の企画と実施

校内避難訓練においては、学校の計画による実施にとどまらず、NSPの生徒が避難訓練の企画や実施、評価を行うことで、生徒の主体性や避難時の意識を一層高めることができた。

3. 子どもたちへの効果（成果・課題）

東日本大震災から13年が経過し、市民の関心もやや薄れがちとなっている。しかし、令和6年1月1日の能登半島地震の発生によって、南海トラフ巨大地震とそれに伴う津波が発生する可能性がますます高まっていることを再認識させられることとなった。また、本校区は津波の危機に常にさらされているとともに、住民の流出や高齢化が進んでいて、若い力によってこの地域を活性化してほしいという住民の願いがある。

本年度の本校及びNSPの活動によって、中学生が地域の防災リーダーとして率先して行動したり、被災者の支援を積極的に行ったりする力が育ちつつあると感じる。地震・津波発生時に、中学生の主体的な動きによって実際に多くの命を救うことができるのではないかと考える。頼りになる若い力があることは、幼児やお年寄りにとって大変心強いものとなるはずである。

中学生が地域に貢献し、地域から頼りにされる、また中学生も地域から温かく見守られながら成長することで、自分たちの住む地域を大切に、故郷を愛する人に育っていくものと考え、今後とも地域とともに歩む中学校であり続けたい。



津波避難マップ 2023 版



資料展示「南海中防災通り」



校区立体地形図（生徒作品）



寸劇「防災俄（にわか）」



自主防災会との打ち合わせ